

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】令和 2 年 3 月 12 日 (2020.3.12)

【公開番号】特開 2018-125752 (P2018-125752A)
 【公開日】平成 30 年 8 月 9 日 (2018.8.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-030
 【出願番号】特願 2017-17543 (P2017-17543)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/028 (2006.01)

H 0 4 N 1/04 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/028 Z

H 0 4 N 1/12 Z

H 0 4 N 1/00 1 0 8 Q

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 31 日 (2020.1.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

原稿が積載される積載部と、前記積載部に積載された原稿を搬送方向に搬送する搬送部と、第一の透明部材と、前記搬送部によって搬送される原稿の第一面の画像を読み取位置において前記第一の透明部材を介して読み取る第一読取部と、を有する原稿搬送ユニットと

、第二の透明部材と、前記搬送部によって搬送される原稿の第二面の画像を前記第二の透明部材を介して読み取る第二読取部と、を有し、前記原稿搬送ユニットが回転可能に取り付けられる読取ユニットと、

を備え、

前記第一読取部は、前記第一面の画像を読み取る読取素子と、前記第二読取部によって読み取られる白色部材と、前記読取素子及び前記白色部材を保持すると共に、前記第一の透明部材が接着されて前記第一の透明部材を保持する保持部材と、を有し、

前記白色部材は、前記原稿搬送ユニットが前記読取ユニットに対して閉じた状態において、鉛直方向において前記第一の透明部材と前記保持部材との間に設けられ、且つ、前記搬送方向において前記第一の透明部材の上流側の端部と下流側の端部との間に設けられ、

前記保持部材は、前記搬送方向において、前記読取位置に関して前記白色部材とは反対側の前記第一の透明部材の第一領域が接着される第一接着部と、前記読取位置に関して前記白色部材と同じ側の前記第一の透明部材の第二領域が接着される第二接着部と、を有し

、前記第一接着部においては、両面テープにより前記第一の透明部材と前記保持部材とが接着され、

前記第二接着部においては、液体接着剤により前記第一の透明部材と前記保持部材とが接着され、

前記第二接着部の前記搬送方向の長さは、前記第一接着部の前記搬送方向の長さよりも短い、

ことを特徴とする画像読取装置。

【請求項 2】

前記白色部材は、前記読取位置よりも前記搬送方向の上流側に設けられている、
ことを特徴とする請求項 1 に記載の画像読取装置。

【請求項 3】

前記第二接着部は、前記液体接着剤を塗布可能な溝を有する、
ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像読取装置。

【請求項 4】

前記保持部材は、前記搬送方向に交差する幅方向において、前記読取素子が読み取り可能な領域よりも外側の領域に、前記第一の透明部材が両面テープにより接着される第三接着部を有する、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の画像読取装置。

【請求項 5】

前記液体接着剤は、紫外線硬化型の接着剤である、
ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の画像読取装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の画像読取装置と、
前記画像読取装置によって読み取られた画像に基づいて、記録媒体に画像を形成する画像形成手段と、を備える、
ことを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明に係る画像読取装置は、原稿が積載される積載部と、前記積載部に積載された原稿を搬送方向に搬送する搬送部と、第一の透明部材と、前記搬送部によって搬送される原稿の第一面の画像を読取位置において前記第一の透明部材を介して読み取る第一読取部と、を有する原稿搬送ユニットと、第二の透明部材と、前記搬送部によって搬送される原稿の第二面の画像を前記第二の透明部材を介して読み取る第二読取部と、を有し、前記原稿搬送ユニットが回動可能に取り付けられる読取ユニットと、を備え、前記第一読取部は、前記第一面の画像を読み取る読取素子と、前記第二読取部によって読み取られる白色部材と、前記読取素子及び前記白色部材を保持すると共に、前記第一の透明部材が接着されて前記第一の透明部材を保持する保持部材と、を有し、前記白色部材は、前記原稿搬送ユニットが前記読取ユニットに対して閉じた状態において、鉛直方向において前記第一の透明部材と前記保持部材との間に設けられ、且つ、前記搬送方向において前記第一の透明部材の上流側の端部と下流側の端部との間に設けられ、前記保持部材は、前記搬送方向において、前記読取位置に関して前記白色部材とは反対側の前記第一の透明部材の第一領域が接着される第一接着部と、前記読取位置に関して前記白色部材と同じ側の前記第一の透明部材の第二領域が接着される第二接着部と、を有し、前記第一接着部においては、両面テープにより前記第一の透明部材と前記保持部材とが接着され、前記第二接着部においては、液体接着剤により前記第一の透明部材と前記保持部材とが接着され、前記第二接着部の前記搬送方向の長さは、前記第一接着部の前記搬送方向の長さよりも短い、ことを特徴とする。